

2016年度 入社式を挙行

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：石井 克政^{いしひよしまさ}）は、4月1日（金）午前9時30分からトヨタ紡織グローバル研修センター（豊田市大林町）で入社式を行いました。入社式には新入社員102名と、役員、労働組合代表など関係者あわせて約150名が出席し、新入社員への激励として、社長の石井は次のように述べました。

「お客様の期待を超え、感動に変わるモノづくりにチャレンジしよう」

トヨタ紡織は、2015年11月にアイシン精機株式会社、シロキ工業株式会社からシート骨格機構部品事業を集約しました。また、新幹線や航空機のシートなど、自動車の枠を超えた移動空間へ挑戦してきました。こうした中で、これまで築き上げてきた技術力をさらに磨き上げ、「お客様の期待を超え、感動に変わるモノづくり」に挑戦し続け、世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案することがトヨタ紡織の使命です。

新入社員のみなさんに特に心がけていただきたいことは、次のとおりです。

1. 自ら考え、自ら判断し、自ら行動する

みなさんは教えられたことに加え、「トヨタ紡織をよりいい会社にしたい」という強い意志を持ち、トヨタ紡織とここで働く仲間の未来のために何をすべきか、自ら考え、職場の仲間と議論し、判断して行動に移すことが重要です。失敗を恐れることなく、果敢にチャレンジしてください。

2. グローバル人材への成長

トヨタ紡織は世界27カ国に拠点を構え、様々な文化、歴史、価値観、経験を持った社員が共に働いています。こうした多様性を「競争力の源泉」とし、互いに学び、よりよい方法を生み出そうとする姿勢を持つことが大切です。また、効果的なビジネスを進めるためには、英語をはじめとする語学力の習得が不可欠です。できる限り早く、グローバルなステージで力を発揮できる社員になることを期待しています。

最後に、いろいろな場面で「素直」であってください。先入観を持たず事実を直視して、何が本質かを見極め行動することが、みなさんの助けとなると思います。